

ESA の暗号化用の追加 E メール ヘッダー

内容

[概要](#)

[オフラインで開くためのエンベロープキーキャッシュを有効にする](#)

[JavaScriptを使用しないエンベロープの有効化](#)

[メッセージの有効期限の有効化](#)

[復号化アプレットの無効化](#)

[追加情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)のコンテンツまたはメッセージフィルタを使用して実装できる追加の電子メールヘッダーについて説明します。

オフラインで開くためのエンベロープキーキャッシュを有効にする

エンベロープキーキャッシングが有効になっている登録済みエンベロープを送信するには、次のヘッダーをメッセージに挿入します。

```
X-PostX-Remember-Envelope-Key-Checkbox: true
```

[登録済みエンベロープ]に[このエンベロープのパスワードを保存する]チェックボックスが表示されます。

JavaScriptを使用しないエンベロープの有効化

JavaScriptフリーの登録済みエンベロープを送信するには、次のヘッダーをメッセージに挿入します。

```
X-PostX-Use-Script: false
```

受信者がsecuredoc.html添付ファイルを開くと、登録済みエンベロープに[オンラインで開く]リンクが表示され、[開く]ボタンが無効になります。

メッセージの有効期限の有効化

メッセージを送信してから24時間経過するようにメッセージを設定するには、次のヘッダーをメ

メッセージに挿入します。

```
X-PostX-ExpirationDate: +24:00:00
```

受信者は、暗号化されたメッセージを送信した後24時間以内に、その内容を開いて表示できます。その後、登録済みエンベロープに、エンベロープの有効期限が切れたことを示すメッセージが表示されます。

復号化アプレットの無効化

復号化アプレットを無効にして、キーサーバでメッセージ添付ファイルを復号化するには、次のヘッダーをメッセージに挿入します。

```
X-PostX-Suppress-Applet-For-Open: true
```

注：復号化アプレットを無効にすると、メッセージが開くまでに時間がかかる場合がありますが、ブラウザ環境に依存しません。

追加情報

Multipurpose Internet Mail Extensions(MIME)ヘッダー

X-PostX-Reply-Enabled
X-PostX-Reply-All-Enabled
X-PostX-Forward-Enabled
X-PostX-Send-Return-Receipt

X-PostX-ExpirationDate

X-PostX-ReadNotificationDate

X-PostX-Suppress-Applet-For-Open

X-PostX-Use-Script

X-PostX-Remember-Envelope-Key-
チェックボックス

説明

メッセージに対してセキュリティで保護された返信を有効にするか、メッセージに対して安全な「全員に返信」を有効にするかどうかを示し、セキュアメッセージ転送を有効にするかどうかを示し、メッセージの開封確認を有効にするかどうかを示します。受信者がセキュアエンベロープを送信する前に、登録済みエンベロープの有効期限を調整、または削除できます。

登録済みエンベロープを送信する前に、開封日を定義します。登録済みエンベロープを送信する前に、復号化アプレットを無効にするかどうかを示します。復号化アプレットを使用しないエンベロープを送信するかどうかを示します。また、メッセージに暗号化設定を追加します。

エンベロープをオフラインで開くために、エンベロープ固有のキー